

2015. **5**
No. **448**

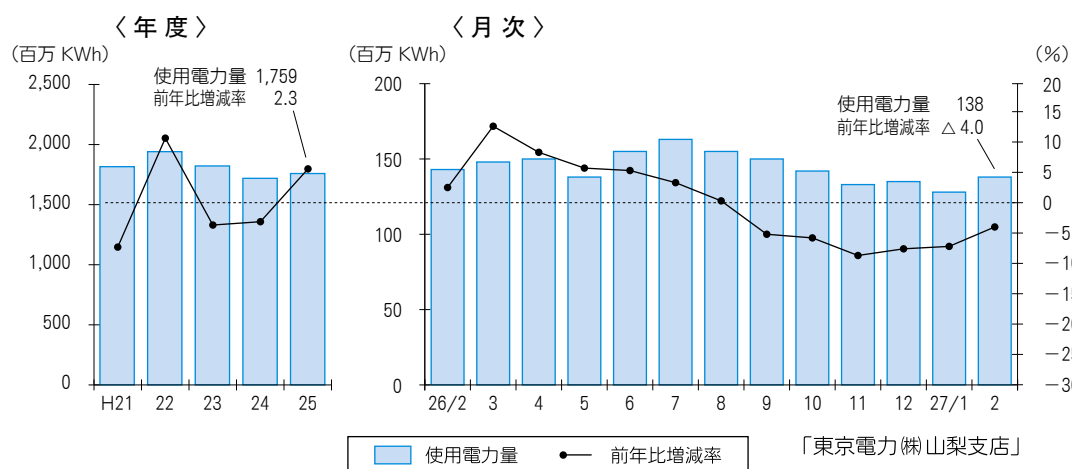
調査月報

県内経済の動向	1
県内主要業界の動向	4
県内経済トピックス	10
全国各地の動向	11
主要経済指標	12
山梨中銀講演会のご案内	15

県内経済の動向

グラフでみる県内景気

県内電力需要（産業用大口電力）の推移



- 平成27年2月の山梨県内の産業用大口電力需要は、138百万KWhで、前年同月を4.0%下回った。電力需要は6か月連続で前年を下回っており、弱い動きが続いている。

概況

最近の県内景気（3月～4月）は、上向きの兆しが窺われる。需要面において、個人消費で弱い動きが継続しているものの、設備投資が回復傾向にあるほか、生産面においても、機械工業で増勢を強めている。また、観光面でも、外国人観光客を中心に各地で賑わいがみられる。

需要：個人消費は、大雪後の備蓄強化や増税前の駆け込み需要などで好調であった前年を大きく下回る状況。また、例年と比べても低水準であり、全体として弱い動きが継続している。設備投資は、医療・介護関連施設で堅調な動きが続くなど、回復傾向にある。

生産：機械工業は、半導体製造装置、コンピュータ数値制御装置等で好調が続いているほか、スマートフォン部品も足元で需要が拡大するなど、増勢を強めている。地場産業関連は、国内需要の縮小や原材料価格の上昇等の影響がみられるなど、全体として低調な状況にある。

消費動向

3月～4月の商況をみると、大雪後の備蓄強化や増税前の駆け込み需要などで好調であった前年を大きく下回る状況。また、例年と比べても低水準であり、全体として弱い動きが継続。

3月の乗用車販売は、前年同月比24.4%減（普通車26.3%減、小型車22.5%減）と、12か月連続の前年比減少。

3月の県内観光は、春節で訪日客が目立った前月に続き外国人観光客を中心に各地で賑わい。なお、花見シーズンの入込みは良好で、大型連休の予約状況も良好。

建設動向

住宅建設：新設住宅着工戸数（3月）は、前年同月比36.0%増と4か月連続の増加。利用関係別でみると、持家（前年同月比31.1%増）が3か月連続の増加、貸家（同85.7%増）が4か月連続の増加、分譲住宅（同25.0%減）が3か月連続の減少。

公共工事：公共工事保証請負額（3月：東日本建設業保証㈱）は86億40百万円で、前年同月比44.7%の減少。発注者別にみると、国が前年同月比78.2%減少、県が同23.3%減少、市町村が同63.1%減少。

雇用情勢

3月の有効求人倍率は0.95倍で、前月と同水準。

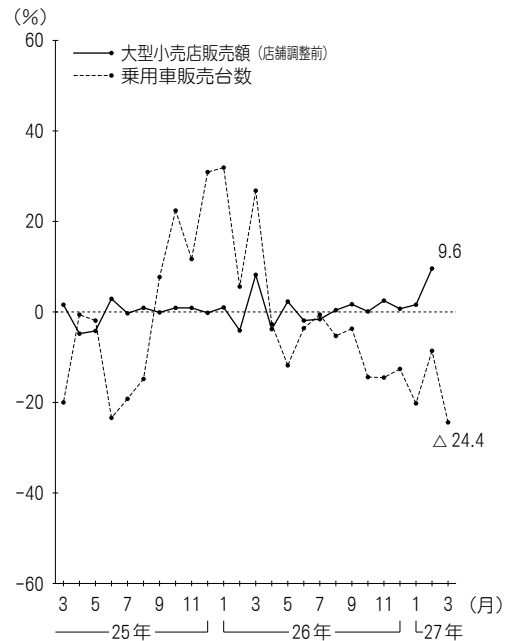
新規求人数は、前年同月比4.2%増と4か月連続の増加。産業別では、製造業、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、教育・学習支援業、医療・福祉等は増加、建設業は同水準、情報通信業、運輸業・郵便業、学術研究・専門・技術サービス業、生活関連サービス業・娯楽業、サービス業等は減少。

企業倒産

4月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は4件、負債総額4億59百万円（東京商工リサーチ調べ）。前月に比べて件数は1件減少、負債総額も64億55百万円減少。

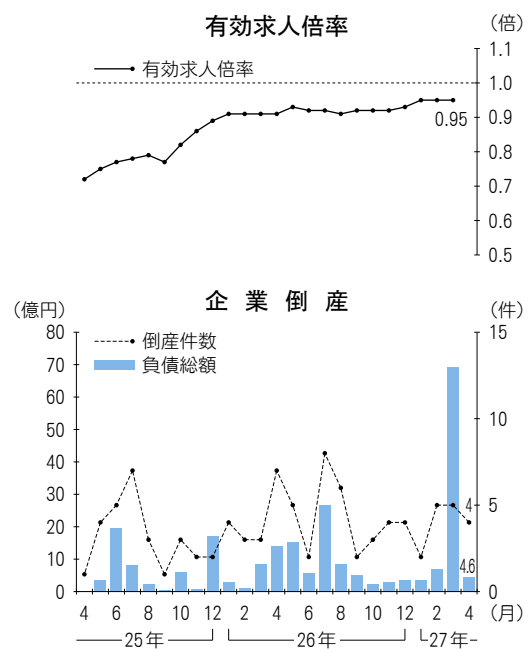
大型小売店販売額・乗用車販売台数推移

（前年比増減率）



「経済産業省・山梨県自動車販売店協会」

雇用情勢・企業倒産の推移



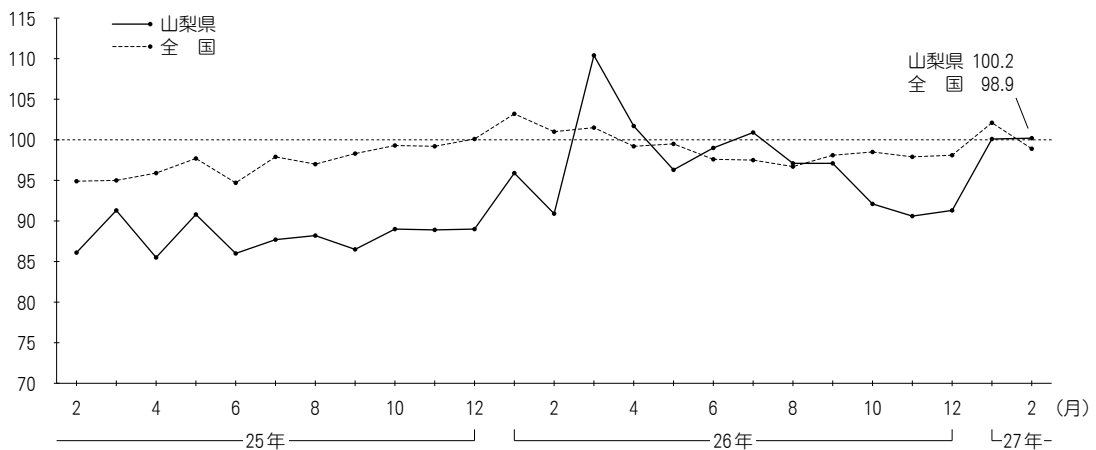
「山梨労働局職業安定部・東京商工リサーチ甲府支店」

生産・出荷動向

- 食品**：ワインは、国産ワインの好調な引き合いを背景に、出荷が堅調に推移。清酒は、小売店を中心に出荷が堅調に推移。調味料類は、業務用の引き合いが好調。ただし、原材料や容器の価格が高騰しており、採算面で苦慮する先も。
- ニット**：受注状況を見ると、総じて前年並みの水準となるなか、足元では気温の上昇により春夏物の引き合いが増加している先も。生産面を見ると、春夏物の取扱いが終盤を迎えているものの、依然として高水準の操業を維持。
- 織物**：婦人服地は、春夏物の受注・生産が横ばい圏内の推移。小売段階では高級品が足元で動いており、今後の追加受注を期待する声も。洋傘地は、受注・生産が例年を上回る状況が継続。座布団地は、受注・生産が前年比でやや減少。
- 宝飾**：受注・生産は、納入先や取扱商品によりばらつきがみられるものの、全体としては横ばい圏内の動き。価格面を見ると、18金やプラチナなどの素材を用いた高価格帯の商品に対する需要が拡大。
- 電気機械、情報通信機械、電子部品・デバイス**：コンピュータ数値制御装置は、海外を中心に自動車関連などの設備投資が活発化するなか、受注・生産が好調に推移。水晶振動子およびコネクタは、スマートフォン向けの受注・生産で増勢を強める動き。
- はん用・生産用機械**：半導体製造装置は、スマートフォンやタブレット端末の需要拡大を背景に、受注・生産が高水準。産業用機械部品は、アジア向けが伸び悩む一方、国内および米国向けの需要が拡大傾向にあり、全体として受注・生産が堅調。
- 輸送機械**：自動車部品の受注・生産は、横ばい圏内の動き。同業界においては、納入先メーカーの海外シフトが進むなか、国内における安定的な受注確保が課題に。かかる状況下、高度な技術力を武器に、提案型営業を展開する動きも。
- 業務用機械**：カメラ部品は、受注・生産が横ばい圏内の動き。レンズなどの光学部品は、生産において前年を上回る動きが続いているが、受注は足元で減速の動き。医療機器は、受注・生産が横ばいで推移。

山梨県鉱工業生産指数推移

(平成22年 = 100、季節調整済)

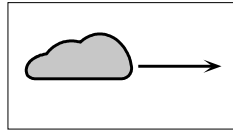


「経済産業省・県統計調査課」

- 2月の鉱工業生産指数は100.2で前月比0.1%の上昇。
- 前年比(原数値)では10.3%の上昇となり、3か月連続のプラス。
- 業種別にみると、情報通信機械工業、電気機械工業等の9業種が上昇、はん用・生産用・業務用機械工業、その他製品工業等の7業種が低下。

県内主要業界の動向

食品



ワインは出荷が堅調に推移

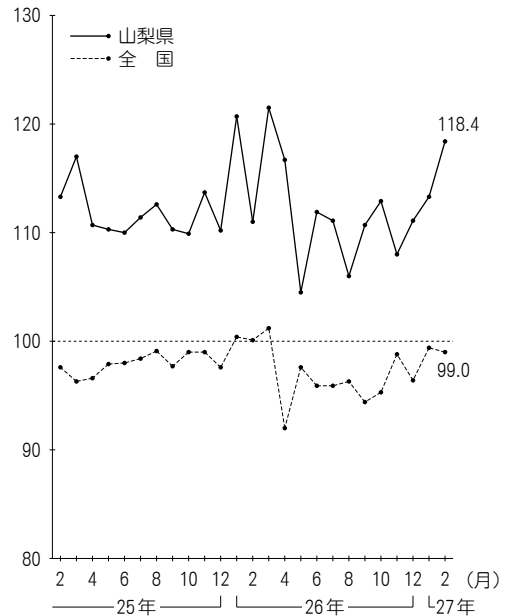
ワインは、国産ワインの好調な引き合いを背景に、出荷が堅調に推移している。品目別ではスパークリングワインの人気の依然として目立つほか、飲みやすく値ごろ感のある小型ボトルの商品も好評。

清酒は、小売店を中心に出荷が堅調に推移している。なお、若年層を中心とした清酒離れがみられるなか、新たな需要を喚起するために清酒をベースとしたリキュール類など新商品の開発に取り組む動きがみられる。

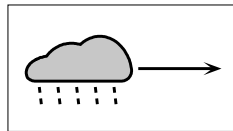
調味料類は、業務用の引き合いが好調。ただし、原材料や容器の価格が高騰しており、採算面で苦慮する先も。

食料品工業生産指数推移

(平成22年=100、季節調整済)



ニット



気温の上昇により春夏物の引き合いが増加

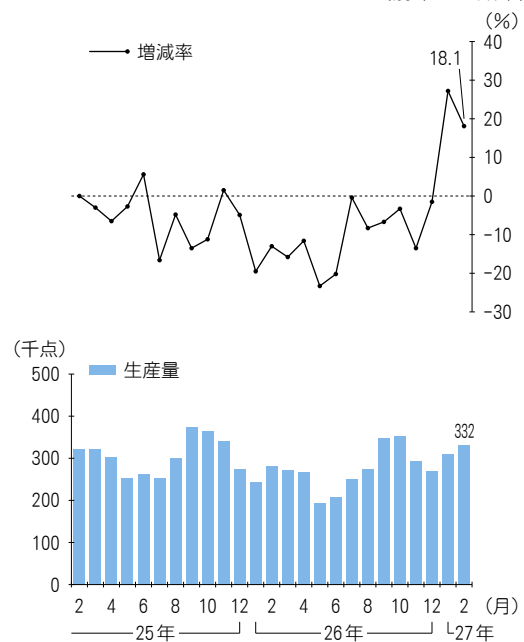
春夏物の出荷がピークを迎えているほか、一部では秋冬物の受注も入り始めている。

受注状況を見ると、総じて前年並みの水準となるなか、足元では気温の上昇により春夏物の引き合いが増加している先も。デザイン的には、消費者の価値観が多様化しているなか、トレンドに左右されないベーシックな製品の開発に注力する取り組みが広まっている。

生産面をみると、春夏物の取扱いが終盤を迎えているものの、依然として高水準の操業を維持。閑散期との稼働率の差が大きくなってきており、下請発注を積極的に活用する動きもみられる。

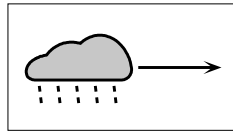
全国ニット製セーター・カーディガン・ベスト類生産推移

(前年比増減率)



「繊維統計月報」

■ 織物



洋傘地は受注・生産が例年を上回る

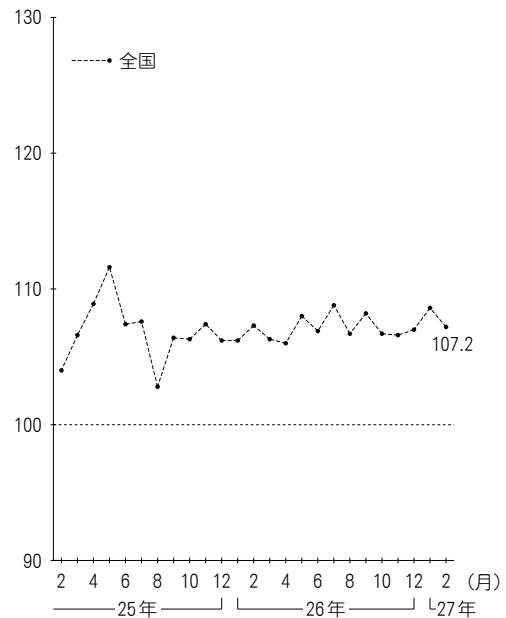
婦人服地は、秋冬物のサンプルづくりを開始。春夏物の受注・生産は横ばい圏内の推移となっているものの、小売段階では高級品が足元で動いており、今後の追加受注を期待する声も。

洋傘地は、受注・生産が例年を上回る状況が続いている。ただし、納入先からの発注が安定せず在庫の積み上がりなどの影響が出ている先もみられ、先行きについては不透明感が窺われる。

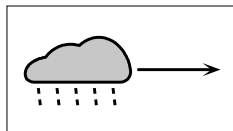
座布団地は、受注・生産が前年比でやや減少しているものの、旅館や飲食店などの買替需要は安定的に推移しており、今後も一定量の受注は確保できる見込み。

織物工業生産指数推移

(平成22年=100、季節調整済)



■ 宝飾



受注・生産は横ばい圏内の動き

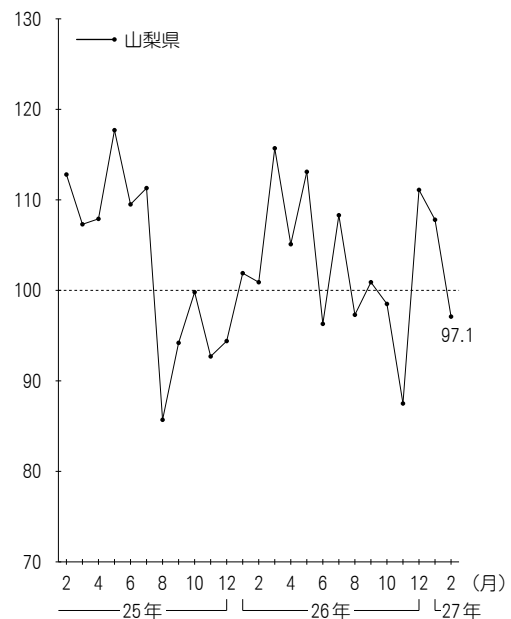
受注・生産は、納入先や取扱商品によりばらつきがみられるものの、全体としては横ばい圏内の動きとなっている。

価格面をみると、節約志向が根強く、低価格品の人気は安定している。一方、18金やプラチナなどの素材を用いた高価格帯の商品に対する需要も高まっており、高品質・高価格品の開発に注力する先もみられる。

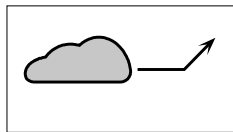
なお、4月8日から9日にかけて国内外の宝飾品バイヤーを対象とした「第44回甲府ジュエリーフェア」が開催された。中国、香港などの海外バイヤーが多数訪れ、全体の売上高は昨年の1.4倍(27億9千万円)となった模様。

貴金属製品工業生産指数推移

(平成22年=100、季節調整済)



**電気機械
情報通信機械
電子部品・デバイス**



スマートフォン部品が増勢を強める動き

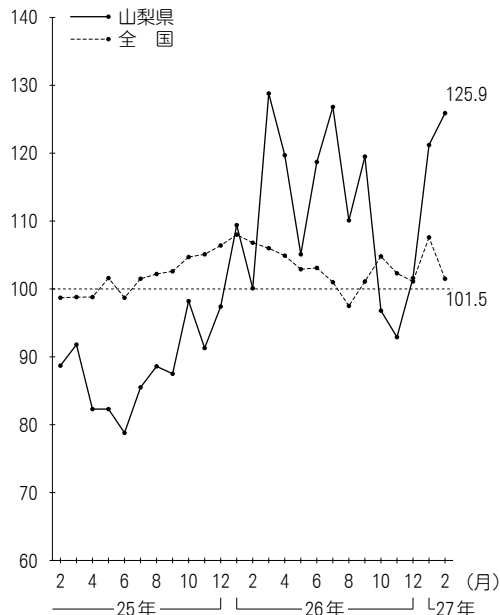
コンピュータ数値制御装置は、海外を中心に自動車関連などの設備投資が活発化するなか、受注・生産が好調に推移している。

水晶振動子およびコネクタは、スマートフォン向けの受注・生産が増勢を強めている。スマートフォンメーカーが新機種の開発・発売に注力するなかで、水晶振動子などの電子部品に対する需要が足元で拡大していることが背景にある。先行きについても、受注が高水準に推移することが見込まれており、県内メーカーにおいては増産体制を整える動きもみられる。

リードフレームは、車載向けを中心に、受注・生産が堅調に推移している。

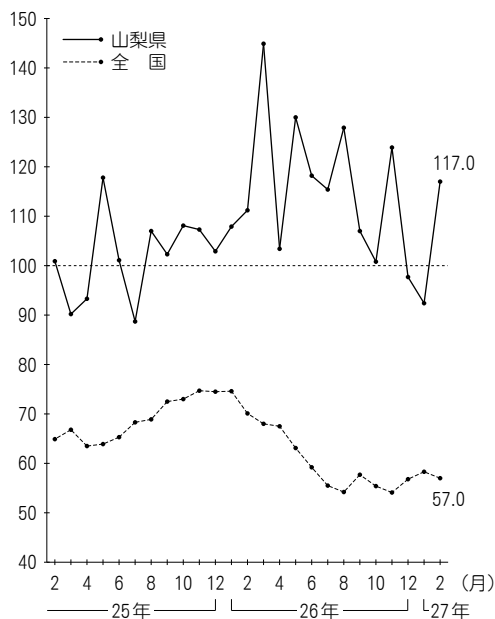
電気機械工業生産指数推移

(平成22年=100、季節調整済)



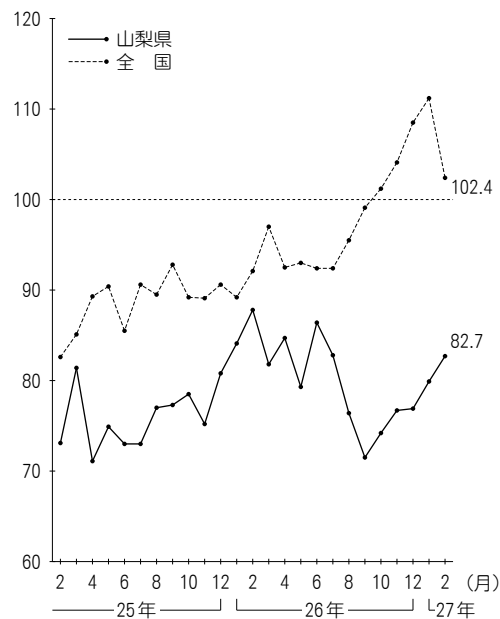
情報通信機械工業生産指数推移

(平成22年=100、季節調整済)

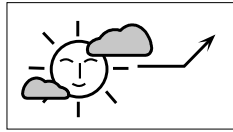


電子部品・デバイス工業生産指数推移

(平成22年=100、季節調整済)



■ はん用・生産用機械



半導体製造装置の受注・生産が高水準に推移

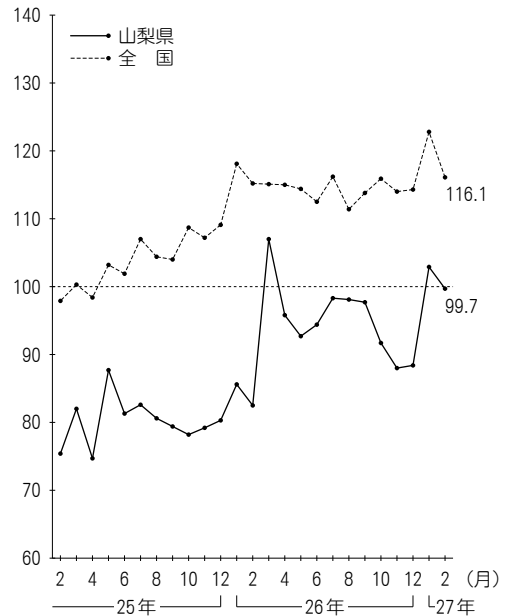
半導体製造装置は、受注・生産が高水準に推移している。スマートフォンやタブレット端末の需要拡大を背景として、半導体メーカーが設備投資を積極的に実施していることが背景にある。従来は、主に海外において活発な設備投資がみられていたが、足元では国内においても投資が増加しつつある模様。

産業用機械部品は、アジア向けが伸び悩む一方、国内および米国向けの需要が拡大傾向にあり、全体として受注・生産が堅調に推移している。

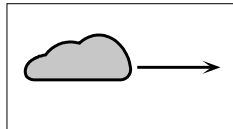
産業用ロボットは、自動車関連を中心に受注・生産が増加傾向にある。

はん用・生産用・業務用機械工業生産指数推移

(平成 22 年 = 100、季節調整済)



■ 輸送機械



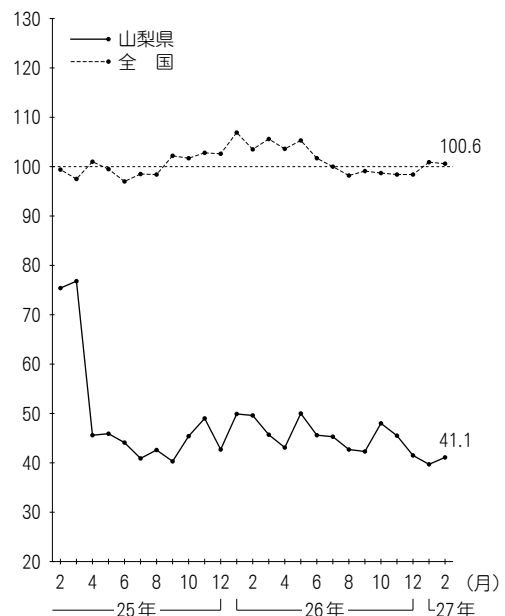
受注・生産は横ばい圏内の動き

3月の全国の四輪車生産台数は、前年同月比6.5%減と9か月連続で前年を下回り、車種別では、乗用車が8.1%減、トラックが2.2%増、バスが10.3%増となった。また、出荷台数は、国内向けが11.2%減、海外向けが2.8%増となった。なお、二輪車生産台数は、12.5%減となり、5か月連続で前年を下回った。

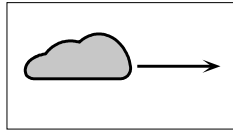
自動車部品の受注・生産は、横ばい圏内の動きとなっている。同業界においては、納入先メーカーの海外シフトが進むなか、国内における安定的な受注確保が課題となっている。かかる状況下、県内メーカーでは、高度な技術力を武器に、提案型営業を展開する動きがみられる。

輸送機械工業生産指数推移

(平成 22 年 = 100、季節調整済)



■ 業務用機械



カメラ部品は受注・生産が横ばいの動き

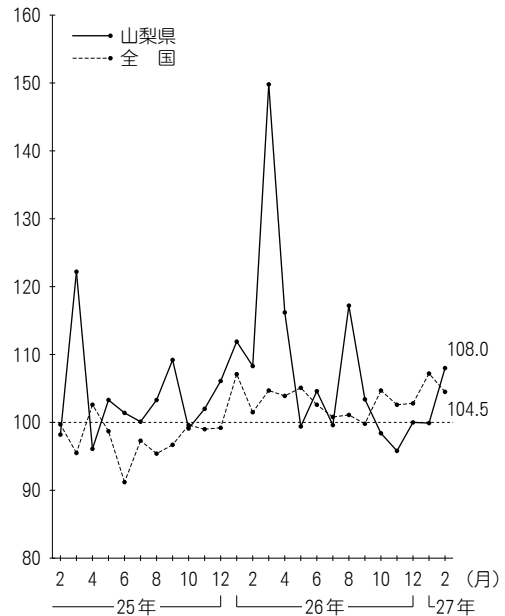
カメラ部品は、デジタル一眼レフカメラやミラーレスカメラ向けで受注を確保する先がみられる。ただし、国内のカメラ市場が大きく拡大している状況にはなく、受注・生産は横ばい圏内の動きとなっている。かかる状況下、県内メーカーにおいてはカメラ以外の部品で売上拡大を図る動きがみられる。

レンズなどの光学部品は、生産において前年を上回る動きが続いているが、受注は足元で減速の動きがみられる。

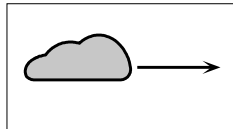
医療機器は、受注・生産が横ばいで推移しており、先行きについても安定的な受注確保が見込まれている。

精密機械工業（旧分類）生産指数推移

（平成 22 年 = 100、季節調整済）



■ 建設



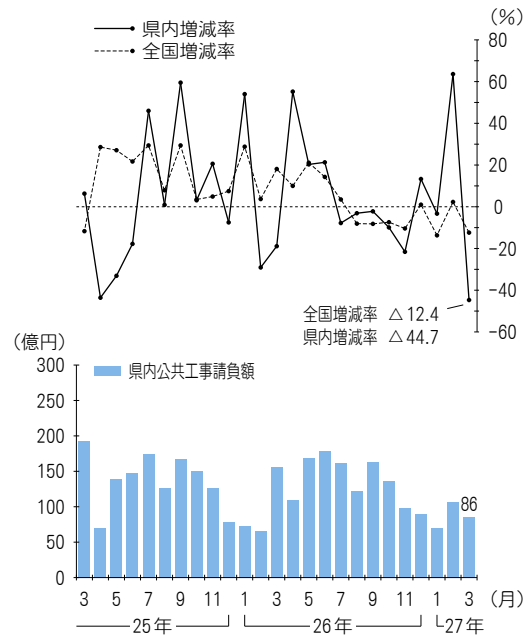
平成 26 年度の公共工事は前年度を上回る

3月の公共工事保証請負額（東日本建設業保証(株)）は86億40百万円、前年同月比44.7%減と、2か月ぶりの減少。発注者別では、国（前年同月比78.2%減）、県（同23.3%減）、市町村（同63.1%減）とも減少した。なお、平成26年度の累計は1,488億21百万円で、前年度を1.0%上回っている。

民間工事は、医療・介護関連施設が引き続き堅調。また、賃貸物件が好調なほか、持家にも回復傾向が窺われるなど住宅関連に持ち直しの兆し。なお、設備の改修や増改築などの引き合いは増加しているものの、価格面で折り合いがつかず採算確保に苦慮しているとの声も。

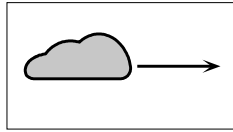
公共工事保証請負額推移

（前年比増減率）



「東日本建設業保証(株)」

■ 商業

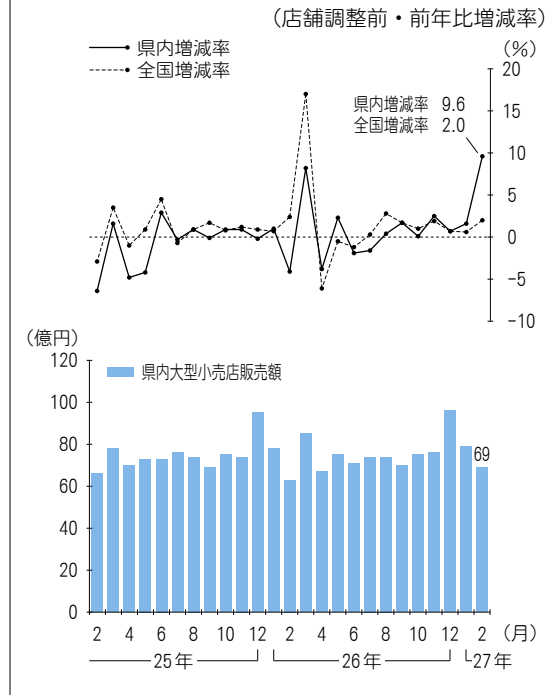


紳士・婦人服は春物が総じて低調

3月～4月の商況をみると、大雪後の備蓄強化や増税前の駆け込み需要などで好調であった前年を大きく下回る状況。また、例年と比べても低水準であり、全体として弱い動きが継続。

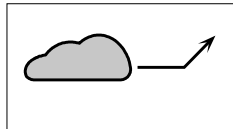
品目別にみると、衣料品は、吸汗性・速乾性の高い実用衣料に動きがみられたものの、天候不順の影響もあり紳士・婦人服は春物が総じて低調で、全体としては伸び悩んでいる状況。食料品は、健康関連商品の需要が拡大しており、価格が高くても高品質品を求める傾向。家電品は、白物家電を中心に前年を大きく下回る品目が多い。なお、地デジ対応テレビの早期購入者層に買い替えの動き。

大型小売店販売額推移



「経済産業省」

■ 観光



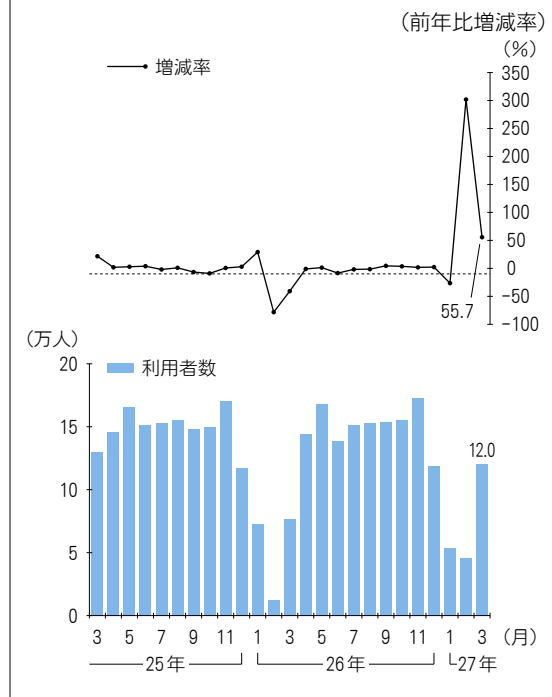
外国人観光客を中心に各地で賑わい

3月の県内観光は、春節で訪日客が目立った前月に続き外国人観光客を中心に各地で賑わい。なお、花見シーズンの入込みは好調で、大型連休の予約状況も良好。

地域別にみると、湯村、下部の両温泉は、宿泊客が団体、個人ともに増加し、前年を上回る入込み。石和温泉は、国内客が伸び悩み前年よりやや減少するも、外国人観光客は増加。

富士北麓は、中国人に加えてタイ人観光客が増加しており、入込みは高水準を確保。また、学生のグループ旅行や合宿も堅調に推移するなど、団体客を中心に多くの宿泊施設でほぼ満室の状況が継続。

県内ゴルフ場利用者数推移



「県税務課」

県内経済トピックス

(4月を中心として)

■ 「ふじさんミュージアム」が開館

富士吉田市の歴史民俗博物館が改修工事を終え、「ふじさんミュージアム」として、4日、リニューアルオープンした。

同館では最新の技術を駆使して、富士山の大型立体模型に映像を投影し、高所からの目線で富士山の四季の移り変わりを楽しめるほか、世界文化遺産の構成資産を学ぶことができる。また、富士山に魅了された人物の解説や富士講信者が辿ったルートなどをタッチパネルで操作することにより見学することができる。

■ 2014年度の県内への移住が199人

山梨県は、14日、東京・有楽町に設置した「やまなし暮らし支援センター」を通じて、2014年度に199人が県内に移住したと発表した。

これによると、移住先は北杜市、甲府市、南アルプス市の順で多く、移住者の居住地は東京都、神奈川県、埼玉県の順が多かった。また、年代別では、30代が最も多かった。

なお、移住先決定の要因としては、「自然環境に恵まれている」、「アクセスが良い」などが挙げられている。

■ 地方版総合戦略策定に向けた支援窓口設置

山梨県は、20日、地方版総合戦略の策定について、県内の各市町村担当者を対象にした説明会を開催した。

国は地方自治体に対し、人口減少対策や地域活性化に向け、雇用創出や定住促進などを盛り込んだ5カ年計画「地方版総合戦略」について、今年度内の策定を求めている。県は中北、峡東、峡南、富士北麓、東部の5圏域に窓口を設け、各市町村に対して情報提供や助言など戦略策定の支援を行っていく。

■ 山梨リニア実験線で時速603kmを達成

JR東海は、21日、山梨リニア実験線（上野原市－笛吹市）で走行試験を行い、最高速度が時速603kmに達したと発表した。

リニア中央新幹線は、実際の営業運転では最高時速505kmを予定しているが、今回の走行試験は高速走行時の信頼性向上のためのデータ収集を目的として実施している。

なお、会社によると、有人走行の鉄道としては世界最速の記録であるため、ギネスブックの更新を申請する予定としている。

■ 東京エレクトロンが米社との統合を断念

半導体製造装置大手の東京エレクトロンは、27日、世界最大手の米アプライドマテリアルズとの経営統合を断念すると発表した。

同社は、米司法省との間で独占禁止法関連の法令認識の相違があり、解決の目途が立たないためとの理由を説明している。

両社は2013年9月に、オランダに新設する持ち株会社の傘下で経営統合する計画を発表していたが、各国当局による審査が難航したため、統合時期を3回延期していた。

■ 県内学生就職内定率が改善

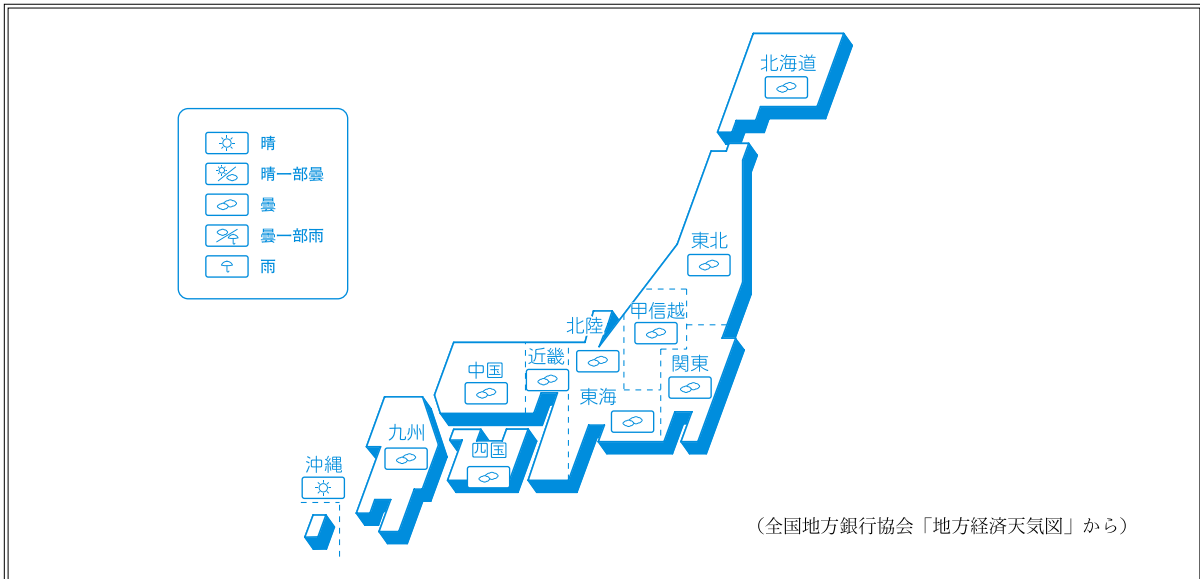
山梨労働局は、30日、今春卒業した県内学生の就職内定状況を発表した。

これによると、高校生の就職内定者数は1,272人で、前年同期と比べて60人増加したほか、就職内定率も99.5%と前年同期と比べて0.9ポイント上回り、15年ぶりに99%台に達するなど、企業側の雇用の積極姿勢が窺われる。

なお、大学生、短大生、専修学校生の就職内定率も、各々91.4%、95.7%、93.4%と、いずれも前年同期を上回っている。

全国各地の動向

～緩やかな回復～



- ☁️ • 北海道、東北 … 輸出が持ち直し、生産も輸送機械、電子部品で増産。
- 関東、近畿 … 公共工事が低調なもの、輸出は米国向けが好調、生産も緩やかに回復。
- 甲信越、四国、九州 … 個人消費は飲食料品が増加するも、乗用車販売が減少、全体では横這い圏内。設備投資は上向き。輸出が足許減少。
- 東海、中国 … 設備投資は伸び悩むものの、生産が輸送機械、電気機械を中心に上向き。住宅建築は低調。
- 北陸 … 個人消費が持ち直し、住宅建築も下げ止まり。北陸新幹線開業（3月14日）の効果に期待。
- ☀️ • 沖縄 … 観光は外国人観光客が増加し好調を持続、公共工事も回復。

全国の状況とD.I.の変化 最近3か月間のD.I.の推移

全国 の 状 況	2月	3月	4月
景況判断：緩やかな回復	53.1	51.6	53.9
景況見通し：緩やかな回復が続く	56.3	57.9	57.9
個人消費：大型小売店販売は増加したものの、乗用車販売が低調に推移するなど、全体として力強さを欠く	47.7	45.3	48.4
住宅建築：着工件数の減少が続き、低調	42.2	46.9	46.1
設備投資：全体として慎重な投資姿勢が続いている	52.3	56.3	53.9
公共工事：高水準の発注が続いてきたが、足許横這い圏内	46.1	41.4	45.3
輸 出：米国向けが好調を持続したものの、アジア向けが減少に転じ、足踏み	56.7	63.5	55.8
生産活動：輸送機械、電気機械が増産となるなど持ち直し	52.3	54.7	60.2
観 光：アジアからの観光客が増加	50.9	50.9	54.5
雇用情勢：高水準の有効求人倍率が続いている	64.8	64.1	61.7

D.I.= (「好転」×1.0+「不変」×0.5+「悪化」×0.0) ÷ 回答銀行数 × 100

山梨県の主要経済指標 ①

摘要	県人口 (注1)		県税収入 (注2)		鉱工業生産指数		産業用大口 電力需要 (注2)		消費者物価指数 (甲府市)		大型小売店販売額 (店舗調整前)		新車登録台数(除軽自)				軽自動車 販売台数	
	人口		金額		指数	前年比	消費量	前年比	指数	前年比	金額	前年比	合計		乗用車		台数	前年比
	人	%	億円	%	2010年=100	%	千kwh	%	2010年=100	%	億円	%	台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比
2012年	851,681	△0.7	833	△0.6	91.2	△10.1	1,719,424	△5.6	99.7	0.1	911	△2.3	23,285	27.9	20,905	29.7	16,908	33.0
2013年	845,956	△0.7	826	△0.8	87.7	△3.8	1,758,885	2.3	100.3	0.6	899	△1.3	21,823	△6.3	19,397	△7.2	18,416	8.9
2014年	840,139	△0.7							103.0	2.7			22,407	2.7	19,558	0.8	19,574	6.3
2014.3	843,492	△0.7	43	1.6	110.4	20.8	147,647	12.6	100.8	1.3	85	8.2	3,744	29.1	3,352	26.8	2,877	31.3
4	840,560	△0.7	42	△5.1	101.7	19.0	149,569	8.3	103.2	3.2	67	△3.8	1,394	△3.4	1,248	△2.7	1,468	11.8
5	841,549	△0.7	111	△6.2	96.3	5.3	138,287	5.7	103.9	3.9	75	2.3	1,358	△10.5	1,202	△11.8	1,224	△7.3
6	841,295	△0.7	167	10.8	99.0	16.0	155,414	5.3	103.7	3.8	71	△1.9	1,793	△0.9	1,542	△3.6	1,703	1.1
7	840,957	△0.7	69	△2.6	100.9	15.1	162,975	3.3	103.7	3.4	74	△1.6	1,842	2.0	1,610	△0.6	1,457	△15.0
8	840,774	△0.7	56	△6.0	97.1	9.2	155,161	0.3	103.7	2.9	74	0.4	1,382	1.1	1,137	△5.3	1,064	△14.8
9	840,437	△0.7	44	6.7	97.1	13.0	149,985	△5.2	104.0	3.1	70	1.7	2,133	△3.2	1,850	△3.7	1,749	△0.3
10	840,139	△0.7	47	6.7	92.1	3.5	142,436	△5.8	103.8	2.6	75	0.1	1,646	△9.4	1,386	△14.4	1,337	1.5
11	839,838	△0.7	54	4.5	90.6	△0.4	133,234	△8.7	103.5	2.5	76	2.5	1,604	△14.3	1,375	△14.5	1,736	△0.1
12	839,426	△0.7	118	9.5	91.3	3.4	134,827	△7.6	103.7	2.8	96	0.7	1,600	△6.1	1,335	△12.6	1,716	21.1
2015.1	838,958	△0.7	56	3.5	100.1	3.6	127,929	△7.2	103.5	2.7	79	1.6	1,643	△15.3	1,375	△20.2	1,297	△28.8
2	838,260	△0.7	42	2.9	100.2	10.3	137,536	△4.0	103.3	2.6	69	9.6	1,921	△2.6	1,644	△8.6	1,593	12.0
3	837,527	△0.7	46	7.0							p77	△9.0	2,873	△23.3	2,533	△24.4	2,661	△7.5
出所	県統計調査課		県税務課		県統計調査課		東京電力㈱		県統計調査課		経済産業省		山梨県自動車販売店協会				県軽自動車協会	

全国の主要経済指標 ①

摘要	人口 (注1)		租税収入 (注2)		鉱工業生産指数		産業用大口 電力需要 (注2)		消費者物価指数		大型小売店販売額 (店舗調整前)		新車登録台数(除軽自)				軽自動車 販売台数	
	人口		金額		指数	前年比	消費量	前年比	指数	前年比	金額	前年比	合計		乗用車		台数	前年比
	千人	%	億円	%	2010年=100	%	百万kwh	%	2010年=100	%	億円	%	千台	前年比	千台	前年比	千台	前年比
2012年	127,515	△0.2	439,314	2.6	97.8	0.6	265,124	△2.4	99.7	0.0	195,916	△0.0	3,408	26.0	3,008	26.3	1,980	30.2
2013年	127,298	△0.2	469,529	6.9	97.0	△0.8	266,478	0.5	100.0	0.4	197,774	0.6	3,281	△3.7	2,866	△4.7	2,113	6.7
2014年	127,083	△0.2			99.0	2.1	263,194	△1.2	102.8	2.7	201,946	1.7	3,311	0.9	2,853	△0.5	2,271	7.5
2014.3	127,136	△0.2	25,030	14.6	101.5	7.4	22,319	2.8	101.0	1.6	19,562	17.0	484	14.6	416	12.9	302	22.4
4	127,136	△0.2	43,131	5.6	99.2	3.7	21,427	0.8	103.1	3.4	14,677	△6.1	190	△11.4	165	△11.8	156	2.9
5	127,098	△0.2	82,504	15.4	99.5	1.0	21,711	0.0	103.5	3.7	15,924	△0.5	208	△5.6	178	△6.9	156	5.3
6	127,113	△0.2	20,145	1.2	97.6	3.2	22,708	△0.1	103.4	3.6	16,317	△1.2	267	△0.7	229	△1.8	187	1.9
7	127,132	△0.2	54,976	17.9	97.5	△0.5	23,689	△1.1	103.4	3.4	17,174	0.3	287	0.5	250	0.3	174	△7.1
8	127,122	△0.2	37,869	4.4	96.7	△3.0	22,390	△2.1	103.6	3.3	16,263	2.8	208	△5.0	177	△5.9	127	△15.1
9	127,046	△0.2	26,241	7.1	98.1	1.0	22,416	△1.5	103.9	3.2	15,313	1.7	317	△2.7	268	△5.6	203	2.5
10	127,083	△0.2	32,645	13.2	98.5	△0.5	22,499	△2.3	103.6	2.9	16,065	1.0	242	△9.1	206	△11.2	156	△0.7
11	127,082	△0.2	69,168	14.1	97.9	△3.7	21,475	△1.2	103.2	2.4	17,286	1.9	242	△13.4	203	△16.0	177	△2.2
12	p127,070	△0.2	29,677	11.4	98.1	△0.1	21,575	△0.6	103.3	2.4	21,558	0.7	234	△8.7	198	△11.1	200	18.5
2015.1	p127,020	△0.2	48,613	18.3	102.1	△2.6	21,110	△1.8	103.1	2.4	17,215	0.6	238	△18.8	207	△21.5	164	△19.4
2	p126,970	△0.2	42,614	19.4	98.9	△2.0	20,397	△2.6	102.9	2.2	14,986	2.0	290	△14.2	249	△16.8	194	△15.4
3	p126,910	△0.2	25,318	1.2	p98.6	△1.2	21,797	△2.3	103.3	2.3	p17,149	△12.3	420	△13.2	356	△14.6	277	△8.3
出所	総務省		財務省		経済産業省		電気事業連合会		総務省		経済産業省		日本自動車販売協会連合会				全国軽自動車協会連合会	

(注1) 年数値は10月1日現在 (注2) 年計は年度計 (注3) pは速報値

山梨県の主要経済指標 ②

年月	家計(勤労者世帯)(注1)				現金給与総額(規模30人以上)		所定外労働時間(規模30人以上)(製造業)		推計常用労働者(規模30人以上)		新規求職者数(注2)		新規求人数(注2)		求人倍率(注2)		雇用保険受給者実人員(注2)	
	消費支出金額		同実質指数		金額	指数	時間	指数	人数	指数	人数	前年比	人数	前年比	新規	有効	人数	前年比
	金額	前年比	指数	前年比														
	円	%	%	%	円	%	時間	%	人	%	人	%	人	%	倍	人	%	
2012年	289,803	1.9	94.4	1.8	318,130	2.8	18.3	△7.2	152,465	△0.9	48,875	△2.6	51,402	5.9	1.05	0.66	45,099	2.2
2013年	307,857	6.2	99.7	5.6	318,727	△0.4	18.2	△8.1	150,404	△1.3	45,457	△7.0	58,356	13.5	1.28	0.82	40,968	△9.2
2014年	334,976	8.8	105.7	6.0	324,120	1.5	21.0	6.6	150,139	△0.2	44,293	△2.6	60,849	4.3	1.37	0.93	36,968	△9.8
2014.3	580,442	107.6	187.1	104.9	277,390	3.0	23.1	21.1	148,515	△0.1	4,505	△4.7	5,367	12.4	1.38	0.91	2,699	△25.6
4	355,757	16.3	112.0	12.7	275,410	2.8	22.8	14.8	151,040	0.1	5,035	△3.5	5,223	16.0	1.34	0.91	2,629	△24.8
5	322,740	10.6	100.9	6.4	271,721	1.4	19.9	10.5	151,114	0.1	3,890	△8.0	5,231	0.7	1.39	0.93	3,272	△18.2
6	269,112	△0.3	84.3	△4.0	463,253	3.8	20.4	4.9	151,201	0.3	3,318	△3.1	5,080	0.8	1.36	0.92	3,234	△16.3
7	305,552	10.5	95.7	6.8	369,201	△4.2	21.1	6.7	151,357	0.0	3,481	△6.1	5,442	8.3	1.34	0.92	3,330	△15.9
8	316,742	4.8	99.2	1.7	271,840	0.1	19.6	△1.4	151,120	△0.1	3,210	△7.3	4,341	△3.6	1.22	0.91	3,322	△13.4
9	300,872	△9.7	94.0	△12.4	269,314	0.6	20.6	△1.0	150,601	△0.4	3,714	0.4	5,383	11.8	1.45	0.92	3,150	△12.8
10	262,186	△6.3	82.1	△8.8	267,021	1.1	20.6	△4.0	150,149	△0.7	3,943	1.8	5,067	△1.0	1.30	0.92	3,094	△11.8
11	257,909	△12.4	81.0	△14.5	274,964	△2.0	22.2	△0.5	149,390	△1.5	3,177	△0.2	4,414	△6.9	1.26	0.92	3,118	△0.4
12	359,186	△15.6	112.5	△17.9	623,008	6.2	22.2	△1.7	149,039	△0.9	2,645	△5.1	4,337	6.1	1.45	0.93	3,168	5.6
2015.1	344,113	△3.1	108.0	△5.7	269,852	2.4	16.2	△2.2	150,652	0.7	3,908	△6.6	5,448	4.1	1.49	0.95	3,056	0.5
2	297,062	△11.1	93.4	△13.4	p266,002	2.7	p19.3	10.0	p149,744	0.8	3,949	23.9	5,293	11.9	1.30	0.95	2,844	0.9
3	331,625	△42.9									4,023	△10.7	5,590	4.2	1.50	0.95	2,751	1.9
出所	総務省				県統計調査課						山梨労働局							

全国の主要経済指標 ②

年月	家計(勤労者世帯)				現金給与総額(規模30人以上)		所定外労働時間(規模30人以上)(製造業)		推計常用労働者(規模30人以上)		新規求職者数(注2)		新規求人数(注2)		求人倍率(注2)		完全失業者	
	消費支出金額		平均消費性向		金額	指数	時間	指数	人数	指数	人数	前年比	人数	前年比	新規	有効	失業者数	失業率
	金額	前年比	平均消費性向	前年比														
	円	%	%	ポイント	円	%	時間	%	千人	%	千人	%	千人	%	倍	万人	%	
2012年	313,874	1.6	73.9	0.5	356,649	△0.6	15.8	0.2	27,257	△0.3	6,816	△7.6	8,979	10.1	1.32	0.82	285	4.3
2013年	319,170	1.7	74.9	1.0	357,977	0.3	16.4	3.8	27,209	△0.2	6,347	△6.9	9,736	8.4	1.53	0.97	265	4.0
2014年	318,755	△0.1	75.3	0.4	363,338	1.5	17.5	6.4	27,307	0.4	5,984	△5.7	10,085	3.6	1.69	1.11	236	3.6
2014.3	384,680	9.6	107.2	10.6	310,777	1.3	18.6	14.8	26,922	0.4	551	△9.7	836	5.4	1.64	1.07	246	3.6
4	329,976	△3.1	88.4	0.1	306,807	1.2	18.0	10.4	27,353	0.4	709	△6.0	860	10.0	1.64	1.08	254	3.6
5	293,050	△4.8	91.3	△5.4	301,208	1.1	16.6	9.2	27,429	0.3	529	△10.5	806	4.0	1.64	1.09	242	3.6
6	295,738	△0.3	52.0	1.9	542,093	2.1	17.0	4.9	27,462	0.4	483	△1.7	804	8.1	1.65	1.10	245	3.7
7	311,693	0.4	69.5	1.2	423,174	4.0	17.4	4.1	27,474	0.5	478	△9.3	864	4.5	1.66	1.10	248	3.7
8	305,836	△2.2	79.8	△0.6	302,373	1.6	16.5	0.6	27,411	0.5	436	△9.2	779	△0.6	1.65	1.10	231	3.5
9	303,614	△3.7	88.8	△1.4	298,197	1.3	17.3	1.2	27,355	0.4	505	△1.8	858	6.3	1.68	1.10	233	3.6
10	316,154	△0.1	78.1	△0.8	299,584	0.7	17.7	1.1	27,342	0.3	497	△6.7	917	1.1	1.69	1.10	233	3.5
11	306,230	1.7	86.9	2.4	312,692	0.6	18.1	1.1	27,359	0.3	389	△10.9	758	△4.4	1.69	1.12	219	3.5
12	357,772	△0.2	46.2	△1.3	669,187	2.1	18.2	1.7	27,378	0.4	368	△4.7	735	5.6	1.77	1.14	210	3.4
2015.1	320,674	△1.6	89.3	△1.6	296,696	0.4	16.8	1.0	27,346	0.7	539	△6.7	947	3.0	1.77	1.14	231	3.6
2	291,387	△1.1	71.6	△2.3	288,596	0.0	17.9	△0.9	27,301	0.9	509	1.0	881	1.7	1.63	1.15	226	3.5
3	351,974	△8.5	96.5	△10.7							541	△1.7	875	4.7	1.72	1.15	228	3.4
出所	総務省				厚生労働省												総務省	

(注1) 調査世帯数などの影響から前年比が大きく変動する場合があります。(注2) 年計は年度計または年度平均 (注3) pは速報値

山梨県の主要経済指標 ③

摘要	新設住宅着工戸数						着工建築物床面積 (除く居住専用)		公共工事 保証請負額 (注1)		企業倒産				金融機関勘定 (注2)			
	合計		持家		貸家		面積	前年比	金額	前年比	件数	前年比	負債総額	前年比	預金		貸出	
	戸数	前年比	戸数	前年比	戸数	前年比									金額	前年比	金額	前年比
	年月	戸	%	戸	%	戸	%	m ²	%	億円	%	件	%	百万円	%	億円	%	億円
2012年	4,286	△0.7	3,087	△1.8	951	5.3	305,661	△30.4	1,529	8.4	58	16.0	15,073	8.8	40,600	0.6	19,018	△1.2
2013年	5,158	20.3	3,652	18.3	1,140	19.9	367,125	20.1	1,473	△3.6	40	△31.0	9,417	△37.5	41,333	1.8	18,781	△1.2
2014年	4,359	△15.5	2,620	△28.3	1,228	7.7	331,912	△9.6	1,488	1.0	51	27.5	9,673	2.7	42,532	2.9	18,741	△0.2
2014.3	275	△13.8	190	△28.6	56	64.7	35,049	179.5	156	△18.9	3	△40.0	853	△46.1	41,086	1.6	19,087	△1.9
4	350	15.1	191	△23.6	127	217.5	22,678	△53.5	109	55.2	7	600.0	1,414	4318.8	41,377	2.2	18,562	△1.6
5	294	△38.2	189	△35.9	86	△43.0	13,236	△41.3	168	20.3	5	25.0	1,525	347.2	41,797	2.7	18,659	△1.6
6	318	△32.6	250	△21.6	43	△66.1	33,209	81.6	178	21.3	2	△60.0	559	△71.5	42,255	2.3	18,626	△1.5
7	288	△19.8	200	△23.7	50	△32.4	49,661	92.7	161	△7.8	8	14.3	2,663	222.0	41,962	2.6	18,577	△1.6
8	476	△15.0	257	△39.4	87	△17.1	15,438	△77.9	122	△3.1	6	100.0	857	277.5	42,279	2.7	18,576	△1.5
9	474	△20.1	211	△30.1	242	49.4	18,555	86.0	163	△2.2	2	100.0	517	761.7	41,798	2.5	18,623	△1.1
10	290	△45.2	178	△55.8	95	△14.4	30,794	△26.4	136	△9.9	3	0.0	216	△67.0	41,655	2.4	18,413	△1.1
11	335	△30.8	221	△39.9	87	△13.0	19,509	△42.7	98	△21.6	4	100.0	303	366.2	42,174	2.9	18,525	△0.5
12	573	42.9	285	△6.6	208	166.7	35,925	△8.4	90	13.3	4	100.0	360	△78.8	42,532	2.9	18,741	△0.2
2015.1	449	12.0	247	8.3	133	31.7	37,880	87.5	70	△3.3	2	△50.0	343	15.5	42,178	3.3	18,639	0.1
2	380	33.3	232	5.5	130	182.6	16,536	△56.1	107	63.6	5	66.7	703	545.0	41,920	2.7	18,541	△0.3
3	374	36.0	249	31.1	104	85.7	19,192	△45.2	86	△44.7	5	66.7	6,914	710.6				
出所	国土交通省						東日本建設業保証		東京商工リサーチ				日本銀行					

全国の主要経済指標 ③

摘要	新設住宅着工戸数						着工建築物床面積 (除く居住専用)		公共工事 保証請負額 (注1)		企業倒産				金融機関勘定 (注2)			
	合計		持家		貸家		面積	前年比	金額	前年比	件数	前年比	負債総額	前年比	預金		貸出	
	戸数	前年比	戸数	前年比	戸数	前年比									金額	前年比	金額	前年比
	年月	百戸	%	百戸	%	百戸	%	千m ²	%	億円	%	件	%	億円	%	百億円	%	百億円
2012年	8,828	5.8	3,116	2.0	3,185	11.4	54,083	6.3	123,820	10.3	12,124	△4.7	38,346	6.7	61,369	2.5	43,382	1.9
2013年	9,800	11.0	3,548	13.9	3,563	11.9	60,281	11.5	145,711	17.7	10,855	△10.5	27,823	△27.4	64,063	4.4	44,913	3.5
2014年	8,923	△8.9	2,853	△19.6	3,622	1.7	58,006	△3.8	145,222	△0.3	9,731	△10.4	18,741	△32.6	66,084	3.2	46,115	2.7
2014.3	694	△2.9	217	△13.0	289	11.3	4,688	△8.9	14,568	18.1	814	△12.4	1,170	△26.5	65,175	3.2	45,324	2.7
4	753	△3.3	238	△16.1	312	12.0	5,249	△3.6	17,583	10.0	914	1.7	1,411	△79.4	65,055	3.1	44,861	2.8
5	678	△15.0	223	△22.9	274	3.1	4,331	△11.3	13,126	21.1	834	△20.2	1,726	△0.4	64,960	2.8	44,915	2.9
6	758	△9.5	249	△19.0	311	1.8	5,276	2.1	15,855	14.3	865	△3.6	1,920	△50.0	65,265	2.6	45,047	2.4
7	729	△14.1	235	△25.3	286	△7.7	5,001	△4.0	16,273	3.5	882	△14.0	1,295	△35.1	64,458	2.4	44,933	2.2
8	738	△12.5	243	△22.7	284	△3.8	4,971	△0.8	11,276	△8.1	727	△11.2	1,358	△18.3	64,616	2.7	45,039	2.2
9	759	△14.3	246	△23.4	301	△5.7	4,468	△20.9	13,984	△8.2	827	0.9	1,368	△28.1	65,287	2.6	45,491	2.3
10	792	△12.3	242	△28.6	336	△4.1	5,696	10.8	13,161	△7.4	800	△16.6	1,241	△20.1	64,694	2.7	45,350	2.8
11	784	△14.3	245	△29.3	327	△7.4	4,479	△8.2	8,437	△10.4	736	△14.6	1,155	△16.3	65,666	3.4	45,626	2.7
12	764	△14.7	237	△25.5	325	△8.9	3,913	△18.7	8,944	1.0	686	△8.5	1,783	32.7	66,084	3.2	46,115	2.7
2015.1	677	△13.0	203	△18.7	269	△10.3	4,280	△22.1	6,708	△13.7	721	△16.6	1,681	△46.7	65,825	3.2	45,849	2.6
2	676	△3.1	208	△9.1	257	△7.5	4,922	10.9	7,122	2.3	692	△11.5	1,512	30.1	66,172	3.7	45,963	2.8
3	699	0.7	214	△1.4	302	4.6	4,068	△13.2	12,755	△12.4	859	5.5	2,236	91.1				
出所	国土交通省						東日本・西日本・北海道建設業保証		東京商工リサーチ				日本銀行					

(注1) 年計は年度計 (注2) 年計は年末残高

山梨中銀講演会のご案内

最寄りの本支店にお申し込みください

演題：目利きの人生談義

講師：



古美術鑑定家

なか じま せい の すけ

中島 誠之助 氏

1938年東京生まれ。古伊万里など東洋古陶磁器を世にひろめる。数十年にわたる「骨董屋からくさ」の経験をもとに、古美術鑑定家として活躍する。1980年に「南青山骨董通り」を作詞。飯田三郎作曲、真咲みどり唄でキングよりプレス、これが東京の青山にある「骨董通り」の由来になり名付け親と呼ばれる。テレビ『開運！なんでも鑑定団』（テレビ東京系）にレギュラー出演、するどい鑑定眼と歯切れのよい江戸っ子トークでお茶の間の人気者に。たとえ鑑定した結果価値の低い物であっても、意匠などを褒め「大事にしてください」と依頼者に語りかけるなど、細やかな心遣いを見せる。「いい仕事してますね」の名文句で“96年度ゆうもあ大賞”を受賞。製品監修・解説・論評・エッセー多数。現在もTV・CM・ラジオのほか、講演で全国各地をまわる。

主な著書：「真贋のカチマケ～鑑定士の仕事～」（二見書房）、「天下の茶道具、鑑定士・中島の眼：『へうげもの名品名席』実見記」（淡交社）ほか著書多数

日時：平成27年6月8日（月）午後3:00～4:45

会場：アピオ甲府（本館）

中巨摩郡昭和町西条 3600 TEL (055) 222-1111

演題：よろこびを力に…

講師：



元プロマラソン選手

あり もり ゆう こ

有森 裕子 氏

1966年岡山県生まれ、就実高校、日本体育大学を卒業して、㈱リクルート入社。バルセロナオリンピック、アトランタオリンピックの女子マラソンでは銀メダル、銅メダルを獲得。2007年2月18日、日本初の大規模市民マラソン『東京マラソン2007』でプロマラソンランナーを引退。1998年NPO法人「ハート・オブ・ゴールド」設立、代表理事就任。2002年4月アスリートのマネジメント会社「ライツ」（現 株式会社RIGHTS.）設立、取締役就任。スペシャルオリンピックス日本理事長、日本プロサッカーリーグ理事、厚生労働省いきいき健康大使、他。2010年6月、国際オリンピック委員会（IOC）女性スポーツ賞を日本人として初めて受賞。同12月、カンボジア王国ノロドム国王陛下より、ロイヤル・モニサラボン勳章大十字を受章。

主な著書：「やめなくなったら、こう考える」（2012年 PHP研究所刊）、「有森裕子のマラソンブック フルマラソンで4時間を切る！」（2009年 マガジンハウス刊）、「スマイル・ランニング フォー・レディーズ」（2009年 保健同人社刊）、「わたし革命」（2003年 岩波書店刊）、「アニモ」（1997年 メディアファクトリー刊）、「有森裕子と読む人口問題ガイドブック」（国際開発ジャーナル社） など

日時：平成27年6月9日（火）午後2:00～3:45

会場：ハイランドリゾートホテル&スパ

富士吉田市新西原 5-6-1 TEL (0555) 22-1000

● 発行/山梨中央銀行 ● 編集/山梨中銀経営コンサルティング 〒400-0031 甲府市丸の内一丁目20番8号
TEL (055) 224-1032 山梨中央銀行 URL : <http://www.yamanashibank.co.jp/>

15

再生紙を使用しています

